

テクノス通信 *Nursing*

9月
vol.64
2014
～ナーシング～

今月のテーマ 「赤外線センサーをうまく活用し、安心・安全な療養環境を！」

今回は、募集していましたアンケートの中で一番リクエストが多かった赤外線センサーの特徴・設置方法をテーマにしました。これを機会に、赤外線センサーの設置をマスターし、ぜひご活用ください！



赤外線センサーはどのような人に効果的？

- ☑ 体動が激しく、動きが読めない人
- ☑ 動きが素早く、コールマットでは対応が間に合わない人
- ☑ センサーを色々試したがどれも上手く使えなかった人

赤外線センサーは、様々な場所に設置出来るのがメリットですが、その場所に合った個別の設定が必要です！



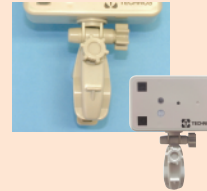
赤外線センサー設置場所について



赤外線センサーを固定するには2通りの仕様があります！

『自在クランプ』

取っ手や棚(板)に取り付け可能！



パイプ:直径25~40mm
板:厚み20~60mmに
取付ができます。

『固定スタンド』

床や平らな所に設置
抜群の安定感！



直径 175mm のスペースに
設置することができます。



赤外線センサーで正確に報知をするための設置方法・注意点

- ① クランプもしくは固定スタンドを本体に取付ける。
- ② 設置場所に仮の状態を設置する。
- ③ テストモードで赤いビームを照射し、照射方向を確認します。(手をかざし照射範囲に入っているとピー音がします)
- ④ ネジで方向や角度を調整する。
- ⑤ 実際の動きでテストをしてください。

注意点① 赤外線センサーの照射範囲にベッドフレーム、点滴スタンド、サイドテーブルの脚などが入っていると、誤作動の原因となる可能性がありますのでご注意ください！

注意点② 赤外線センサーの反応が鈍い場合は、検知時間設定を 0.5 秒にしてください。照射範囲に 0.5 秒以上入るとセンサーが動く設定です。センサーの反応が良すぎる場合は、検知時間設定を 1 秒もしくは 2 秒に設定してください。



来月号もご期待ください。

無断の複製、転載は固くお断りいたします。 Copyright(C)2014 Technos Japan Co.,Ltd. All Rights Reserved.